

## 第 8 次旭川市総合計画基本計画（案）修正箇所一覧

No.	頁	項目	基本計画(案)	基本計画
1	1	1 基本計画の趣旨 (2)構成	基本計画は、基本構想で掲げた5つの基本目標と13の基本政策に基づき、福祉・子育て、教育・文化、産業・交流、環境・都市基盤、住民自治や自治体経営などの基本政策ごとに、目標像、現状と課題、成果指標、施策で構成しています。  (後略)	基本計画は、基本構想で掲げた5つの基本目標と13の基本政策に基づき、福祉・子育て、教育・文化、産業・交流、環境・都市基盤、住民自治や自治体経営などの基本政策ごとに、目標像、 <u>成果指標、現状と課題</u> 、施策で構成しています。  (後略)
2	1	1 基本計画の趣旨 (2)構成	(前略) また、本市の諸課題の解決に向けて「選択と集中」を図るため、29の施策のうち特に重点的に取り組む「重点施策」を設定します。	(前略) また、本市の諸課題の解決に向けて「選択と集中」を図るため、 <u>3つの重点テーマを掲げ</u> 、29の施策のうち特に重点的に取り組む「重点施策」を設定します。
3	3	3 第8次旭川市総合計画の体系	体系図 ※省略	体系図 ※省略
4	6 以降	5 基本政策 基本政策1～13	【現状と課題】 【成果指標】	【成果指標】 【現状と課題】 ※順序の入替え
5	6 以降	5 基本政策 基本政策1～13	【成果指標】 指標 説明	【成果指標】 指標 <u>名及び説明</u>
6	8	5 基本政策 基本政策2	【成果指標】 健康寿命 基準値 男性 78.6 歳 女性 82.9 歳 (H25)	【成果指標】 健康寿命 基準値 男性 78. <u>59</u> 歳 女性 82. <u>90</u> 歳 (H25) <u>平均寿命</u> <u>基準値 男性 80.03 歳 女性 86.03 歳 (H25)</u>
7	8	5 基本政策 基本政策2	【成果指標】 特定健診受診率 基準値 20.7% (H25) 目標値 60% (H31) 目標値 60% (H39)	【成果指標】 特定健診受診率 基準値 <u>21.8% (H26)</u> 目標値 <u>38%</u> (H31) 目標値 60% (H39)

8	13	5 基本政策 基本政策4	<p>【現状と課題】 本市を含む上川管内の学力状況は、全道14管内の中で上位水準にあります。一方、学習習慣の定着などに関わる課題が明らかになっています。 (後略)</p>	<p>【現状と課題】 本市を含む上川管内における小中学生の学力状況については、全道14管内の中で上位水準にあるものの、北海道全体では全国と比べて低く、学習習慣の定着などに関わる課題が明らかになっています。 (後略)</p>
9	17	5 基本政策 基本政策6	<p>【現状と課題】 (前略) また、少子高齢化や人口減少により国内の市場が縮小する一方、経済のグローバル化が進展する中、海外の市場を視野に入れた対応が重要になるとともに、企業の誘致や新たな産業の育成、新規創業等を推進し、これらにより雇用を創出するなど、地域経済の活性化を図っていくことが必要です。 (中略) 農林業についても、就業者の高齢化が進み、今後も就業人口の急激な減少が見込まれることから、新規就農者や林業従事者など、担い手となる人材を育成・確保するとともに、生産効率を上げていくことが必要です。 (後略)</p> <p>【施策1】魅力の活用、発信と競争力の強化 (前略) さらに、医療機関が集積していることや、北北海道における良質な食材の集積地であることをはじめとする本市の特性や資源を活用した新たな産業の創出に取り組むなど、地域産業の活性化を図ります。</p>	<p>【現状と課題】 (前略) また、少子高齢化や人口減少により国内の市場が縮小する一方、経済のグローバル化が進展する中、海外の市場を視野に入れた対応が重要になるとともに、企業の誘致や新たな産業の育成、新規創業等を推進し、これらにより雇用を創出するなど、産学官などの連携も進めながら、地域経済の活性化を図っていくことが必要です。 (中略) 農林業についても、就業者の高齢化や就業人口の急激な減少に加え、今後、環太平洋パートナーシップ(TPP)協定の影響などにより地域農業を取り巻く環境が厳しさを増すことも見込まれることから、新規就農者や林業従事者など、担い手となる人材を育成・確保するとともに、生産効率を上げていくことが必要です。 (後略)</p> <p>【施策1】魅力の活用、発信と競争力の強化 (前略) さらに、医療機関が集積していることや、北北海道における良質な食材の集積地であることをはじめとする本市の特性や資源を活用した新たな産業の創出に取り組むなど、高等教育機関や研究機関などとも連携しながら、地域産業の活性化を図ります。</p>
10	18	5 基本政策 基本政策7	<p>【目標像】 ● 国外との多様な交流が拡大し、本市をはじめ北北海道全体において人やまち、産業などの国際化が進んでいます。</p>	<p>【目標像】 ● 国外との多様な交流が拡大し、本市をはじめ北北海道全体において人やまち、産業などの国際化が図られています。</p>
11	18	5 基本政策 基本政策7	<p>【成果指標】 観光客宿泊延数 基準値 74.4万泊 (H26) 目標値 85万泊 (H31) 目標値 85万泊 (H39)</p>	<p>【成果指標】 観光客宿泊延数 基準値 74.4万泊 (H26) 目標値 100万泊 (H31) 目標値 100万泊 (H39)</p>

12	19	5 基本政策 基本政策7	<p>【現状と課題】</p> <p>(前略)</p> <p>こうした課題への取組と併せて、地域内交通の機能充実や北北海道の交通の要衝としての拠点性の向上など、まちの機能の充実が求められています。</p>	<p>【現状と課題】</p> <p>(前略)</p> <p><u>さらに、地方への移住に向けた取組が全国的に活発化してきていることなどから、こうした諸課題への対応と併せて、放射状道路と環状道路で構成される本市の道路網の特徴を生かした</u>地域内交通の機能充実や北北海道の交通の要衝としての拠点性の向上など、まちの機能の充実が求められています。</p>
13	19	5 基本政策 基本政策7	<p>【施策1】まちの賑わいの創出</p> <p>(前略)</p> <p>さらに、本市の多様な魅力を効果的に情報発信しながら、市民一人一人のおもてなしの心の醸成と受入体制の充実を図り、この地を訪れる国内外の人々が魅力に感動し、心地よさを実感できるまちにします。</p>	<p>【施策1】まちの賑わいの創出</p> <p>(前略)</p> <p>さらに、<u>イベントの充実やコンベンションの誘致、幅広い世代の移住促進に取り組むなど</u>、本市の多様な魅力を効果的に情報発信しながら、市民一人一人のおもてなしの心の醸成と受入体制の充実を図り、この地を訪れる国内外の人々が魅力に感動し、<u>居心地の良さを感じることができる環境を創出します。</u></p>
14	21	5 基本政策 基本政策8	<p>【現状と課題】</p> <p>旧町村との合併や郊外地域への宅地造成などに伴い、徐々に郊外へ市街化区域が広がってきたため、中心市街地では居住地や商業地などの利用が低下しており、土地利用の適正化が求められています。</p> <p>(後略)</p>	<p>【現状と課題】</p> <p>旧町村との合併や郊外地域への宅地造成などに伴い、徐々に郊外へ市街化区域が広がったことなどから、中心市街地では居住地や商業地などの利用が低下しており、土地利用の適正化が求められています。</p> <p>(後略)</p>
15	22	5 基本政策 基本政策9	<p>【目標像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境に対する市民の意識が高まり、人と自然が共生できる社会の形成が進んでいます。</li> </ul> <p>(中略)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 省エネ対策や再生可能エネルギーの導入など、低炭素社会の形成が進んでいます。</li> </ul>	<p>【目標像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境に対する市民の意識が高まり、人と自然が共生できる社会が形成されています。</li> </ul> <p>(中略)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 省エネ対策や再生可能エネルギーの導入などにより、低炭素社会が形成されています。</li> </ul>
16	23	5 基本政策 基本政策9	<p>【現状と課題】</p> <p>野生生物の生息環境の悪化や外来種の影響などにより、地球規模で生物多様性の損失が進んでいることから、本市においても自然環境の保全に向け、基礎的な調査や具体的な対策を行うとともに、市民の意識の醸成や指導的な役割を担う人材の育成が重要です。</p> <p>(中略)</p>	<p>【現状と課題】</p> <p><u>生物多様性の損失が地球規模で進んでいる中、本市でも気候変動や外来種の侵入、山林等の利用状況の変化などによって野生生物の生息環境への影響が生じているため、自然環境の保全に向けた調査や対策に取り組む必要があります。</u></p> <p><u>一方、カタクリの大群落の保存やサケが遡上する河川環境の再生など、多くの市民や関連団体の活動の成果が徐々に</u></p>

			<p>また、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素など温室効果ガスの排出抑制は、世界全体の大きな課題であることから、市民一人一人の意識を高め、市民と行政、事業者などが一体となって取り組むことが求められています。</p>	<p><u>に表れており、そうした活動が将来にわたって続けられるよう、市民の意識の醸成や指導的な役割を担う人材の育成が重要です。</u></p> <p>(中略)</p> <p>また、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素など温室効果ガスの排出抑制は、世界全体の大きな課題であることから、市民一人一人の意識を高め、市民や事業者、行政などが一体となって取り組むことが求められています。</p>
17	24	5 基本政策 基本政策10	<p>【目標像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民や地域、行政などが共に協力し、災害に強いまちが形成されています。</li> </ul>	<p>【目標像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民や地域、行政などが共に協力し、災害に強いまちづくりが<u>進められています。</u></li> </ul>
18	24	5 基本政策 基本政策10	<p>【成果指標】</p> <p>市民の人的災害り災率 基準値 1.38%</p>	<p>【成果指標】</p> <p>市民の人的災害り災率 基準値 1.3<u>6</u>%</p>
19	25	5 基本政策 基本政策10	<p>【現状と課題】</p> <p>東日本大震災以降、災害に強いまちづくりの重要性が高まっており、平成25年12月には「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が制定され、本市においても、地震や水害など大規模自然災害等に強い地域づくりを進め、市民の生命及び生活を守ることができるよう防災力を向上させることが求められています。</p> <p>さらに、自然災害だけではなく、武力攻撃やテロなども視野に入れ、本市のあらゆる危機事態に対応できる総合的な防災力の強化が必要です。</p> <p>(後略)</p>	<p>【現状と課題】</p> <p>東日本大震災以降、災害に強いまちづくりの重要性が高まっており、平成25年12月には「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が制定され、本市においても、地震や水害など大規模自然災害等に強い地域づくりを進め、市民の生命及び生活を守ることができるよう防災力を向上させることが求められています。</p> <p><u>特に、近年、短時間で集中的な豪雨等により、都市部などで浸水被害が発生しており、そうした災害への対応が課題となっています。</u></p> <p>さらに、自然災害だけではなく、武力攻撃やテロなども視野に入れ、本市のあらゆる危機事態に対応できる総合的な防災力の強化が必要です。</p> <p>(後略)</p>
20	26	5 基本政策 基本政策11	市民、地域、行政が結びつき、心が通い合う環境づくり	市民、地域、行政が結び <u>付き</u> 、心が通い合う環境づくり
21	26	5 基本政策 基本政策11	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市に愛着や親しみを感じている市民の割合</li> <li>・地域で主体的に活動している市民の割合</li> <li>・まちづくりに関心がある市民の割合</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスを実現できていると思う市民の割合</li> </ul>	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市に愛着や親しみを感じている市民の割合</li> <li>・<u>まちづくりに関心がある市民の割合</u></li> <li>・<u>地域で主体的に活動している市民の割合</u></li> <li>・ワーク・ライフ・バランスを実現できていると思う市民の割合</li> </ul>

22	26	5 基本政策 基本政策11	【成果指標】 ワーク・ライフ・バランスを実現できていると思う市民の割合 目標値 21% (H31)	【成果指標】 ワーク・ライフ・バランスを実現できていると思う市民の割合 目標値 <u>25%</u> (H31)
23	28	5 基本政策 基本政策12	【成果指標】 上川中部定住自立圏形成協定に基づく取組数 目標値 162 (H31)	【成果指標】 上川中部定住自立圏形成協定に基づく取組数 目標値 <u>166</u> (H31)
24	29	5 基本政策 基本政策12	【現状と課題】  (前略) さらに、本市には、北北海道の拠点都市としての機能を生かすことや、広域連携による産業振興や安全・安心の確保など、様々な取組の牽引役となることが求められています。	【現状と課題】  (前略) さらに、本市には、北北海道の拠点都市としての機能を生かすことや、広域連携による産業 <u>や防災、教育</u> など、様々な取組の牽引役となることが求められています。
25	32	6 都市づくりの基本 方策	【造る】から【保全・活用】への転換 少子高齢化・人口減少や社会資本の老朽化が進む中、50年、100年先の都市の在り方を見据え、コンパクトで効率的な都市構造の構築に向けて、「造る」から【保全・活用】への転換を図ります。	【造る】から【保全・活用】への転換 少子高齢化・人口減少や社会資本の老朽化が進む中、 <u>将来世代へ健全な資産として引き継ぐため</u> 、50年、100年先の都市の在り方を見据え、「造る」から【保全・活用】への転換を図ります。
26	32	6 都市づくりの基本 方策	【コンパクト化】と【ネットワーク化】の推進 恒常的な賑わいや利便性向上につながる都市機能の最適化を促すため、地域それぞれの役割や機能を市民と行政が共に考えながら、「歩いて暮らせる生活圏」を基本的なスケールとし、居住誘導や機能集積など【コンパクト化】への取組と、それと連携した交通体系の機能充実など【ネットワーク化】への取組を進めます。  (1) 健全性の確保 【方策】 ● 居住誘導や都市機能集積など、計画的な都市の効率化やコンパクト化の推進	【コンパクト化】と【ネットワーク化】の推進 恒常的な賑わいや利便性向上につながる都市機能の最適化を促すため、地域それぞれの役割や機能を市民と行政が共に考えながら、「歩いて暮らせる生活圏」を基本的なスケールとし、 <u>まとまりのある居住エリアの形成</u> や都市機能の集積など【コンパクト化】への取組と、それと連携した交通体系の機能充実など【ネットワーク化】への取組を進めます。  (1) 健全性の確保 【方策】 ● <u>まとまりのある居住エリアの形成</u> や都市機能の集積など、計画的な都市の効率化、 <u>コンパクト化</u> の推進
27	34	6 都市づくりの基本 方策	(6) 安全性の強化 【現状と課題】 ・ 暴風雪や豪雪時における災害など、積雪寒冷地のリスク ・ 適正に監理されていない空き家の増加や耐震化が進まない建築物への対策	(6) 安全性の強化 【現状と課題】 ・ 暴風雪や豪雪時における災害など、積雪寒冷地のリスク ・ <u>河川の氾濫のほか、都市部における内水氾濫など水害のリスク</u> ・ 適正に監理されていない空き家の増加や耐震化が進まない建築物への対策